

事業報告書

日時	平成 31 年 3 月 10 日（日） 14:00～16:00
目的	地域活動における男女共同参画を推進するために、本講座では、地域リーダーとしての役割について学ぶ。
対象	地域リーダーを目指す方、関心のある方
講師	株式会社 note 代表取締役 仲間 暁子氏
会場	沖縄県男女共同参画センターていりる 3 F 研修室 1・2
参加者数	16 名 （ 女性 12 名 ・ 男性 4 名 ）
講演内容 (次第)	<p>「チームビルディングでファシリテーション」</p> <p>●第 3 回目地域リーダー養成講座の目的と目標</p> <p>目的：ファシリテーションの基本や会議の目的・目標・手順を明確にする理由、困った場面ごとの対処法などファシリテーション・スキルを理解することで、成果が実感できる会議運営を目指す。</p> <p>目標：①ファシリテーションが何か、説明できる／②会議の目的・目標・手順を明確にする理由を知っている／③困った場面の対処法を 2 つ以上挙げられる／④主催する会議でやってみたいことを 2 つ以上挙げられる</p> <p>●アイスブレイキング（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none">・アイスブレイキングの目的、安心して言いたいことが言える雰囲気作り・グループメンバーの自己紹介（呼んで欲しい名前／普段していること／最近あった悪い・良い出来事／何を期待して参加したか） <p>●グラウンドルール</p> <p>●ファシリテーションの基本形を知る</p> <ul style="list-style-type: none">・ファシリテーションとは・ファシリテーションの定義・ファシリテーターの基本動作 <p>グループワーク</p> <p>●会議の時に困っていることを整理する</p> <ul style="list-style-type: none">・会議の分類・会議の最初にすること <p>●会議の時に困った場面の対処法を知る</p> <ul style="list-style-type: none">・困っていることの共通認識を作る・困っていることを分類し、グループで共有・参加を促進するために・批判的な意見を防ぐために・制限時間内に終るために・納得感を持ってもらうために・各グループで困っている事・場面ベスト 3 を発表 <p>●いつもの会議を変えてみる</p> <ul style="list-style-type: none">・アイスブレイキングの導入・付箋でアイディア・意見出し・出たコメントに質問を 1 つする

	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムキーパーを置く ・ゴールイメージを描く ・メンバーの意見を褒めてみる ・ホワイトボードの活用 ・必要なメンバーだけ招集する ・お菓子を食べながら（リラックス） <p>●本日の振り返り</p>
<p style="text-align: center;">講演内容 (概要)</p>	<p>●今日の目標と目的</p> <p>ファシリテーションについて、参加者が説明出来る事、ファシリテーションの基本や会議の目的・目標・手順を明確にする理由、困った場面ごとの対処法などファシリテーション・スキルを理解することで、成果が実感できる会議運営を目指す。ファシリテーションのスキルを身につける事が目標を挙げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでアイスブレイクを実施（グループでの自己紹介／人生のグラフ） <p>アイスブレイクを会議などに用いて、自己紹介や自分について話す事で参加しているメンバーの人と成りを知り、心理的安全性が高まる事を説明。心理的安全性が低いと会議や話合いの場で自分が発言した時に他者にどう思われるか、仕事が増えるなど不安が多くなると挙げ、良いチームの条件は、心理的安全性が高い事が共通していると話す。チームの心理的安全性を高めるために、アイスブレイクを用いる事の重要性を伝えた。</p> <p>●今日のグラウンドルールを決める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に話したり書いたりする ・批判は禁止 ・意見を受け入れる ・分からない事に対しては質問をする ・制約を取り払う（枠を越えての発想） ・タイムキーパーを置く <p>●ファシリテーションの基本（定義：ファシリテーターは集団が物事を円滑に運ぶ人）</p> <p>ファシリテーター（講師ではなく、みんなと同じ目線に立ってアイディア、意見を引き出す）置くことで、目標に近づく為にギャップを埋めることが出来るようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本動作（立ち振る舞い）表情を豊かに／場の作り方（参加者の名前を知っている状態）／大きな声ではっきりと話す／テンポ良く進める、考える時間を与える、話過ぎない（沈黙 OK）／引き出し方（質問をする）／意見を尊重する（受け止める）／心理的安全性が下がらないように心がける／感情と向き合う（イラッとした時）気持ちを参加者へ開示する。 <p>チームへの気配り（全員にアイコンタクト）</p> <p>●グループワーク（各グループ4名～5名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始める前に必ず3点を確認する <ol style="list-style-type: none"> 1) 目的：何のためにするのか 2) 目標：どこまで行く（具体案とスケジュール決め） 3) 手順：どうやってたどり着く <p>ワーク：会議での困りごと1件ずつ付箋紙に記入（できるだけ多くを出し合う）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内でタイムキーパーとファシリテーターを決める ・グループ内で各自出し合った困りごとをシェア（ファシリテーター役は意見が出やすい雰囲気を作れたか確認／タイムキーパー役は時間の配分で話合いのまとめ方ができたかを確認） ・各グループで出てきた困りごとについて、解決をどの問題にするのか、「目標」を立て、共通認識を作り、ワークを進める。

- ・講師は、各グループの進行状況に合わせて、助言・指導を行なった。
- ・グループで出た困りごとを付箋に書き出したものをジャンル別に分け、会議をした内容をまとめて、全体へ発表。

まとめ：会議をする際にAの意見、Bの意見、とするのではなく、なぜこの人がこの意見を持っているのか、なぜ反対の意見なのか探っていく必要がある。今までの会議は、Aの意見またはBの意見に賛同するだけで良かったが、これからの会議ではAの意見Bの意見を網羅した新たなCの意見が出てくる。見えてこなかった新たな意見を見いだす事がチームビルディングと伝えた。会議の中では、会議をする事で「新しくより良いもの・メリット」を伝える事で会議をより良いものにできるとアドバイスした。

参加者の声

(自由記載欄より抜粋)

- ・勉強になりました。今まで学んだ事のない分野だったので、楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ファシリテーターの役割の重要性がわかりました。自分が会議を進行できるようになりたいなと思っています。
- ・話しやすい雰囲気だったので、楽しかったです。これから職場で実践したいと思います。
- ・様々な場面で活用出来る内容だと思います。とても勉強になりました。

写真



主催等

主催：沖縄県・(公財)おきなわ女性財団
共催：内閣府